

# Economic Indicators

発表日: 2020年11月10日(火)

## 2020年7-9月期GDP予測(最終版)

～前期比年率+19.2%と予想～

第一生命経済研究所 調査研究本部

経済調査部長・首席エコノミスト 新家 義貴(Tel:03-5221-4528)

11月16日に公表される2020年7-9月期の実質GDP成長率を前期比年率+19.2%（前期比+4.5%）と予測する。10月30日の段階では前期比年率+18.5%（前期比+4.3%）と予想していたが、その後公表された経済指標の結果を反映し、予測値を上方修正する。

本日公表された9月分の国際収支統計では、筆者の想定よりもサービス輸出が大きく上振れたことから、7-9月期の実質輸出の予測値を前期比+7.9%（従来予測値：同+6.7%）へと大幅に上方修正した（実質輸入は前期比▲8.7%と、従来予測値の同▲8.8%から微修正）。輸出の大幅増と輸入の大幅減が重なった結果、外需寄与度は前期比年率+11.5%Ptもの大幅プラスになることが予想される（従来予測値：同+10.8%Pt）。なお、11月6日に公表された9月分の家計調査と家計消費状況調査の結果も反映したが、筆者の想定と大きくは異ならなかったことから、個人消費の予測値は前期比+4.4%で変更していない。これらを踏まえ、7-9月期の実質GDP成長率を前期比年率+19.2%と予測する。記録的な落ち込みとなった4-6月期（前期比年率▲28.1%）から急反発する形になるだろう。

（需要項目ごとの予測値の解説は、「2020年7-9月期GDP（1次速報）予測」（10月30日発行）をご参照ください）

### 2020年7-9月期GDP予測

(%)	
実質GDP	4.5
(前期比年率)	19.2
内需寄与度	1.8
(うち民需)	1.6
(うち公需)	0.2
外需寄与度	2.8
民間最終消費支出	4.4
民間住宅	▲ 8.2
民間企業設備	▲ 1.8
民間在庫変動(寄与度)	▲ 0.3
政府最終消費支出	0.8
公的固定資本形成	0.6
財貨・サービスの輸出	7.9
財貨・サービスの輸入	▲ 8.7

※断りの無い場合、前期比(%)

(出所)内閣府「国民経済計算」、第一生命経済研究所

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

